

Swagelok® ミディアム・プレッシャー・チューブ継手 取り扱い説明書

取り付け方法

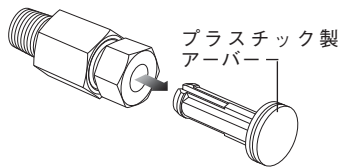
以下の取り付け方法は、外径サイズが 1/4 ～ 3/4 インチ、6 ～ 12 mm の Swagelok ミディアム・プレッシャー・チューブ継手に適用されません。3/4 インチ・サイズの Swagelok ミディアム・プレッシャー・チューブ継手の場合のみ、Swagelok マルチヘッド・ハイドロリック・スウェージング・ユニット (MHSU) を使って、フェルールをチューブに予備締めすることができます。詳細につきましては、マルチヘッド・ハイドロリック・スウェージング・ユニット (MHSU) を使用して予備締めする接続方法の項をご参照ください。

1. 部品装着カートリッジを継手ボディにねじ込み、指締めします。

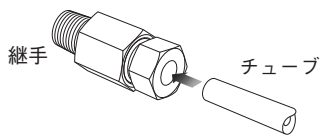
注意：使用温度が 204°C を超える場合は、Silver Goop™ (シルバー・グープ) 高温用ねじ潤滑剤を継手ナットのねじ部に塗布してください。



2. プラスチック製アーバーを取り外します。 (取り外したアーバーは以降使用しません。)

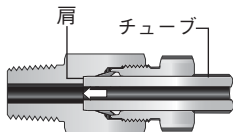


3. チューブを継手の中に差し込みます。



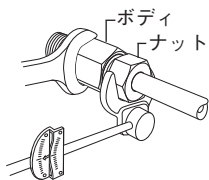
全サイズ共通

4. チューブが継手ボディの肩に確実に当たるのを確かめます。



全サイズ共通 (3/4 インチ・サイズを除く)

5. 継手ボディを固定し、指定のトルク値でナットを締め付けます。



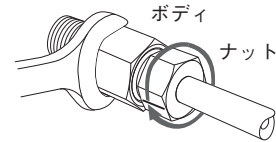
チューブ 外径サイズ	必要トルク (N・m)
1/4 インチ、6 mm	35
3/8 インチ 10 mm	60
1/2 インチ、12 mm	135
9/16 インチ	230

または、ナットに目印を付けてから、ナットを 1 回転まわします。

6. 継手が十分に締め付けられているかどうかを確認するには、Swagelok ミディアム・プレッシャー・ギャップ検査ゲージを使用してください。

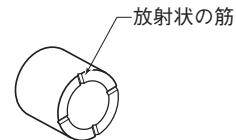
3/4 インチ・サイズの場合

- ナットに目印を付けてから、継手ボディを固定し、ナットを 1 回転まわします。
- 継手が十分に締め付けられているかどうかを確認するには、Swagelok ミディアム・プレッシャー・ギャップ検査ゲージを使用してください。



マルチヘッド・ハイドロリック・スウェージング・ユニット (MHSU) を使用して予備締めする接続方法 (3/4 インチ・サイズ)

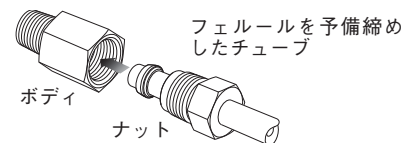
- Swagelok マルチヘッド・ハイドロリック・スウェージング・ユニット (MHSU) および適切なミディアム・プレッシャー用ツールを使って、フェルールをチューブに予備締めします。
詳細につきましては、『マルチヘッド・ハイドロリック・スウェージング・ユニット (MHSU) 取り扱い説明書』(MS-12-37) をご参照ください。
- チューブ端面に放射状の筋が入っているかを確認します。この筋は、チューブが適切に MHSU に装着されていたことを示します。端面処理の状態にもよりますが、筋がはっきりと見えない場合は、そのアセンブリーを使用することはできません。



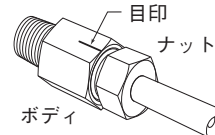
MHSU は、フロント・フェルールおよびバック・フェルールを同時に予備締めする場合のみご使用ください。フェルールの予備締めが不十分な場合はフェルールを廃棄し、未使用のフェルールを使用して再度これまでの手順を行ってください。

3. チューブに締め付けられているフロント・フェルールが、継手ボディのシート面に密着するようにチューブを差し込み、ナットを指締めします。

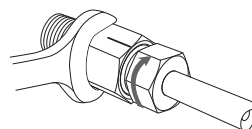
注意：使用温度が 204°C を超える場合は、Silver Goop (シルバー・グープ) 高温用ねじ潤滑剤を継手ナットのねじ部に塗布してください。



4. 継手ボディに、ナットの六角部のいずれかの角の延長線上に目印を付けます。



5. 継手ボディを固定し、ナットを 1/3 回転まわします。これにより、ナットが目印よりちょうど六角部 2 つ分進んだことになります。



または、継手ボディを固定し、指定のトルク値で締め付けます。

チューブ 外径サイズ	必要トルク (N・m)
3/4 インチ	305

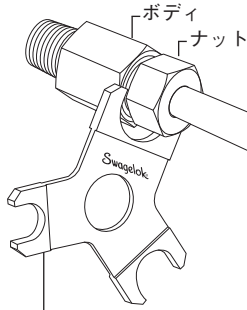
6. 継手が十分に締め付けられているかどうかを確認するには、Swagelok ミディアム・プレッシャー・ギャップ検査ゲージを使用してください。

締め付けの確認

Swagelok ミディアム・プレッシャー・ギャップ検査ゲージを使用することで、継手が十分に締め付けられているかどうかを確認することができます（初回取り付け時）。

Swagelok ミディアム・プレッシャー・ギャップ検査ゲージをナットとボディの間のすき間に当ててください。

- ・ギャップ検査ゲージがナットとボディの間に入らなければ、締め付けが十分に行われています。
- ・ギャップ検査ゲージがナットとボディの間に入るようであれば、さらに締め付けが必要です。

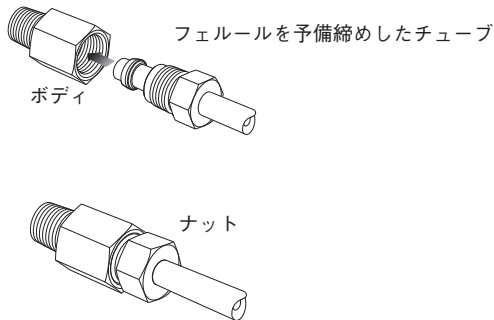


Swagelok ミディアム・プレッシャー・ギャップ検査ゲージ

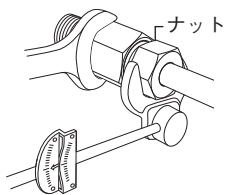
再取り付け方法

Swagelok ミディアム・プレッシャー・チューブ継手は、取り外しや再取り付けが可能です。

1. チューブに締め付けられているフロント・フェルールが、継手ボディのシート面に密着するようにチューブを差し込み、ナットを指締めします。



2. 継手ボディを固定し、レンチでナットをまわして指定のトルク値で締め付けます。



チューブ 外径サイズ	必要トルク (N・m)
1/4 インチ、6 mm	35
3/8 インチ 10 mm	60
1/2 インチ、12 mm	135
9/16 インチ	230
3/4 インチ	305

または、継手ボディを固定し、レンチでナットを前回締め付けたところまでまわします。その位置まで締めると、手ごたえが感じられます。レンチでごくわずかに増し締めします。

- ⚠ ギャップ検査ゲージは、再取り付けした継手には使用しないでください。

キャップの取り付け方法

前ページのミディアム・プレッシャー・チューブ継手の取り付け方法の項をご参照ください。

プラグの取り付け方法

継手ボディを固定し、指定のトルク値でプラグを締め付けます。

チューブ 外径サイズ	必要トルク (N・m)
1/4 インチ、6 mm	35
3/8 インチ 10 mm	60
1/2 インチ、12 mm	150
9/16 インチ	230
3/4 インチ	305

または、指締め位置からプラグを 1/4 回転まわします。

ポート・コネクタの取り付け方法

ポート・コネクタの機械加工されたフェルール・エンドの取り付け方法につきましては、**プラグの取り付け方法**の項をご参照ください。

ポート・コネクタにフェルールの予備締め付けを行ったエンドの取り付け方法につきましては、**チューブ・アダプター/レデューサーの取り付け方法**の項をご参照ください。

チューブ・アダプター/レデューサーの取り付け方法

初回取り付け時は、フェルールを予備締めしたチューブをボディに差し込み、ナットを指締めします。

使用温度が 204°C を超える場合は、Silver Goop (シルバー・グープ) 高温用ねじ潤滑剤を継手ナットのねじ部に塗布することをお勧めします。

- サイズが 9/16 インチ / 12 mm 以下の予備締めされた継手の場合は、ボディを固定し、ナットを前回締め付けたところまでまわします。その位置まで締めると、手ごたえが感じられます。さらにナットを 1/4 回転まわします。

- サイズが 3/4 インチの予備締めされた継手の場合は、ボディを固定し、ナットを 1/3 回転まわします

または、継手ボディを固定し、指定のトルク値でナットを締め付けます。トルク値につきましては、**プラグの取り付け方法**の項をご参照ください。

ご注意：他社部品との混用や互換は絶対に行わないでください。

この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

その他の言語の取り扱い説明書もご用意しています。詳細につきましては、スウェージロック指定販売会社までお問い合わせください。

www.swagelok.co.jp